

令和4年 6月15日

広島信用金庫

第77期 通常総代会 について

広島信用金庫（理事長 川上 武）では、本日（6月15日）開催の、第77期通常総代会において、下記の事項を報告ならびに決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 令和3年度（第77期）決算概要

（1）業容について

預 金	1,617,051百万円	（前期比 47,623百万円増 3.0%増）
貸 出 金	1,036,948百万円	（前期比 17,036百万円増 1.6%増）

預金は、内容の充実を第一に地域に密着した営業活動を推進いたしました結果、前期比476億円増加し、期末残高は1兆6,170億円となりました。

貸出金は、地域経済の活性化を図るため地域の皆様の資金ニーズに積極的に対応いたしました結果、前期比170億円増加し、1兆369億円となりました。

（2）利益について

経 常 収 益	20,701百万円	（前期比 218百万円減 1.0%減）
実質業務純益	4,411百万円	（前期比 109百万円増 2.5%増）
コア業務純益	4,400百万円	（前期比 98百万円増 2.2%増）
経 常 利 益	3,834百万円	（前期比 107百万円増 2.8%増）
当 期 純 利 益	2,849百万円	（前期比 162百万円増 6.0%増）

株式等売却益の減少などにより、経常収益は前期比2億18百万円減少となりましたが、経営全般にわたる業務の合理化に努めました結果、本業での収益力を示すコア業務純益は前年同期比98百万円増益の44億円となりました。与信コストの減少などにより経常利益は107百万円増益の38億34百万円、最終利益である当期純利益は、162百万円増益の28億49百万円となりました。

(3) 不良債権の処理状況について

資産のさらなる健全化をはかるべく、厳格な自己査定にもとづく不良債権の処理を行いました結果、令和4年3月期における不良債権処理額は、10億51百万円（前期比1億73百万円増、19.7%増）となりました。

(4) 信用金庫法および金融再生法による開示債権について

(金額単位：百万円)

	開示額 ①	担保・保証等 ②	貸倒引当金 ③	保 全 率 (②+③) / ①
破産更生債権等	2,713	1,283	1,429	100.0%
危 険 債 権	22,493	12,668	4,751	77.4%
要 管 理 債 権	232	112	24	58.9%
三月以上延滞債権	-	-	-	-
貸出条件緩和債権	232	112	24	58.9%
小 計	25,439	14,064	6,206	79.6%
正 常 債 権	1,015,985			
合 計	1,041,425			

信用金庫法および金融再生法上の不良債権額は、254億39百万円（前期比12億24百万円増、5.0%増）となり、不良債権比率は前期比0.08ポイント上昇し、2.44%となりました。なお、不良債権額のうち79.6%は、担保・保証等および貸倒引当金により保全がはかられております。

(5) 自己資本比率（国内基準）について

自 己 資 本 総 額 ① - ②	104,210 百万円
コア資本に係る基礎項目 ①	106,255 百万円
コア資本に係る調整項目 ②	2,044 百万円
リ ス ク ア セ ッ ト	792,577 百万円
自 己 資 本 比 率	13.14 %

自己資本比率は13.14%となり、引き続き国内基準の4.0%を大きく上回っております。

(6) 令和4年度計画について

・経常収益	195 億円程度	・コア業務純益	40 億円程度
・経常利益	29 億円程度	・当期純利益	20 億円程度
・自己資本比率	13 %台	・不良債権比率	2 %台

<参考> 連結決算の概要

- ・ 連結される子会社及び子法人等
 - ひろしんビジネスサービス株式会社
 - ひろしん保証サービス株式会社
 - ひろしん農業育成投資事業有限責任組合
- ・ 連結業績

経常収益	20,831百万円	(前期比	224百万円減	1.0%減)
経常利益	3,982百万円	(前期比	69百万円増	1.7%増)
当期純利益	2,948百万円	(前期比	137百万円増	4.8%増)
連結自己資本比率	13.21%			

2. 役員異動（令和4年6月15日付）

(1) 新任

常勤理事 大道 隆昌（前 横川支店 支店長 兼 三篠支店 支店長）

[お問い合わせ先] 経営企画部 広報室 TEL 082-245-0030